1　国語

学校番号	３００４

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ａ	単位数	2	年次	3
使用教科書	現代文Ａ（東京書籍）						
副教材等	国語必携ライトパーフェクト演習　三訂版（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ

・社会人として必要な国語力を身に付けることを心がけましょう。
・教員の問いかけに対して、自由な雰囲気で生徒と教員、生徒同士の話し合いや発表など、アクティブな授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・週１回、ライトパーフェクト演習をテキストにして小テストを行います。しっかり勉強してきてください。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 ワークシート 定期考査毎の宿題			記述の確認及び分析 ワークシート 定期考査	行動の観察 記述の確認 ワークシート 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a			d	e		
1学期	小説・詩歌等	【近代以降】 教材 よしもとばななみどりのゆび	◎				○	a:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 e:言葉・文章の特徴、漢字などの知識を身に付けている。	a、e: 行動の観察と確認 e 小テスト
	評論の内容を理解するⅠ	【現代文】 教材:梯久美子『少女たちの「ひろしま」』	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	自己を見つめる、表現する	【近代以降】 教材:「ライトパーフェクト演習」(尚文出版) ワークシート	○			○	◎	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 d:文を適切に理解し、正しい答えを導き出す e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、d、e: 記述の点検と確認 小テスト
2学期	韻文を読む・	【現代文】 教材: 吉野弘「I was brn」	○			◎	○	a:韻文中に描かれている人物の心情を表現に即して読み、想像ができる d:韻文に描かれている情景を思い起こし、異なる立場から読みを深めている。 e:韻文の中にある比喩表現や倒置表現などのレトリックを理解し、それらが韻文の中でどのような効果をもたらすのかを考える。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

2学期	韻文を読む	【現代文】韻文 信濃路(短歌) 春雷(俳句)	○			◎	○	a:韻文中に描かれている情景を表現に即して読み、想像ができる。 d:韻文に描かれている情景を思い起こし、異なる立場から読みを深めている。 e:韻文の中にある比喩表現や倒置表現などのレトリックを理解し、それらが韻文の中でどのような効果をもたらすのかを考える。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認及び定期テスト e:小テスト
	小説の内容を理解する	【現代文】小説 教材: 『山月記」 『ナイン』	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、記述の確認小テスト及び定期考査 e:小テスト
	評論の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材:内田樹 『身銭を切るコミュニケーション』	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析、小テスト及び定期考査
3学期	随筆を読む	【現代文】 〈現代短歌がそのように作られるのか、随想を読み解き、鑑賞しながら味わう 教材:俵万智「さくらさくらさくら」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:短歌の歴史、手法、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析、小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。